

令和元年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	海田町立海田東小学校	校長	石川 和明	生徒指導主事	吉岡 朋美
-----	------------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『「あいさつ運動」の取組について』

取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「コミュニケーション能力」	3	「主体性・積極性」	1	「自己理解」	2

取組のねらい

学校の友だちや先生、家族、自分とかわりのある地域の方に進んで気持ちのよいあいさつをすることを通して、思いやりをもち、自分や友だちのよさを考える児童の育成をめざす。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『美しいあいさつ』
----------	----------------------

【あいさつ運動の取組】

- 朝の登校時間帯にあいさつ運動を行う。
- 月・金曜日は児童会、水曜日は担当学年の児童が正門と南門に分かれて、登校する児童にあいさつをする。
- 各学年でアイデアを出し合い、工夫して取り組む。



【あいさつがんばろうカードの取組】

- あいさつのレベルごとに得点を決めて、自分のあいさつを振り返る。
- 各自がカードに点数を記録し、学級ごとに集計する。
- 結果を放送で紹介したり校内に掲示したりした。

レベル	あいさつ内容	点数
レベル1	相手に聞こえる声で	1点
レベル2	相手に聞こえる声で 自分から	2点
レベル3	相手の目を見て 自分から	3点
レベル4	立ち止まって 自分から	4点
レベル5	立ち止まって 会釈をしながら 自分から	5点

【あいさつ木(き)ら木(き)らの取組】

- あいさつ運動等の取組を踏まえて、「立ち止まって自分から笑顔で」あいさつする児童を生徒指導部の教員が認定した。
- 認定者の名前を、「あいさつ木ら木ら」の木に貼って校内に掲示したり放送で全校で紹介したりした。



・あいさつを、5段階のレベルで設定し、各教室に掲示した。

- 1：相手に聞こえる声で
- 2：相手に聞こえる声で 自分から
- 3：相手の目を見て 自分から
- 4：立ち止まって 自分から
- 5：立ち止まって 会釈をしながら 自分から



レベル5の「美しいあいさつ」が自分からできるように、一年間かけて取り組んだ。

取組の成果と課題

一年間を通してあいさつ運動を続けることで、児童のあいさつへの意識は高まった。児童アンケートでは、89%の児童があいさつができていると答えている。しかし、校内でのあいさつが、地域へ広がっていない。恥ずかしがらずに、保護者や地域の方へも自分からあいさつする児童をめざしていきたい。